

「対話型美術鑑賞」の推進と 「ガイドスタッフ」の発掘、育成

文化芸術振興基本計画の関連する目標

- 施策目標 2 すべての子どもが文化芸術に親しめる環境をつくる
- 具体的方策 2-2 質の高い文化芸術に触れることのできる機会の創出
- 施策目標 3 文化芸術の振興を牽引する担い手を育てる
- 具体的方策 3-3 文化芸術プロデューサー、文化芸術ボランティアの育成

「対話型美術鑑賞」とは、子どもたちに数人のガイドスタッフがつき、作品についての感想や意見を引き出しながら鑑賞するもので、観察力や思考力、コミュニケーション力などを養うことを目的としています。

平成20年に改訂された学習指導要領には、子どもの豊かな情操を養うために、対話による美術鑑賞を進めることが盛り込まれました。

本市では、平成22年度から一部の学校で対話型の美術鑑賞授業を実験的に実施していますが、これのさらなる拡大を図るため、授業をサポートするガイドスタッフの発掘、育成を行います。

1 事業内容

平成23年度：美術鑑賞シンポジウム（2月）の開催。市民ボランティアの募集、選定。

平成24年度：市民ボランティアのガイドスタッフ育成研修の開催。

モデル校を設定し、同スタッフを活用した授業を年度後半に試行的に実施。

平成25年度：段階的に各校で実施。

※ガイドスタッフの育成にあたっては、元損保ジャパン東郷青児美術館館長の経歴を持つコーディネーター・小口弘史氏を中心にNPO法人芸術資源開発機構に協力をいただきます。

2 文化スポーツ部（文化振興課）と教育部（学校）との役割分担

文化振興課：ガイドスタッフの発掘、育成

学 校：対話型美術鑑賞の実施

3 対話型美術鑑賞授業の実施方法

- ①周辺の美術館に協力を仰ぎ、休館日等を活用して実施する。
- ②市内の美術活動団体の協力を得て、作品を学校に持ち込んで実施する。
- ③学校内の電子黒板を利用して実施する。

4 ガイドスタッフの募集内容

対 象：市内在住、在勤、在学、在活動者（美術に関する経験は不問）

人 数：約15人

選 考：面接など実施のうえ決定（状況により、平成24年度の募集もあり。）

報 酬：なし

「大和駅東側第4地区公益施設管理運営基本計画」

文化芸術振興基本計画の関連する目標

施策目標4 大和の文化芸術の魅力を内外にアピールする

具体的方策4-1 新たな文化芸術拠点の整備推進

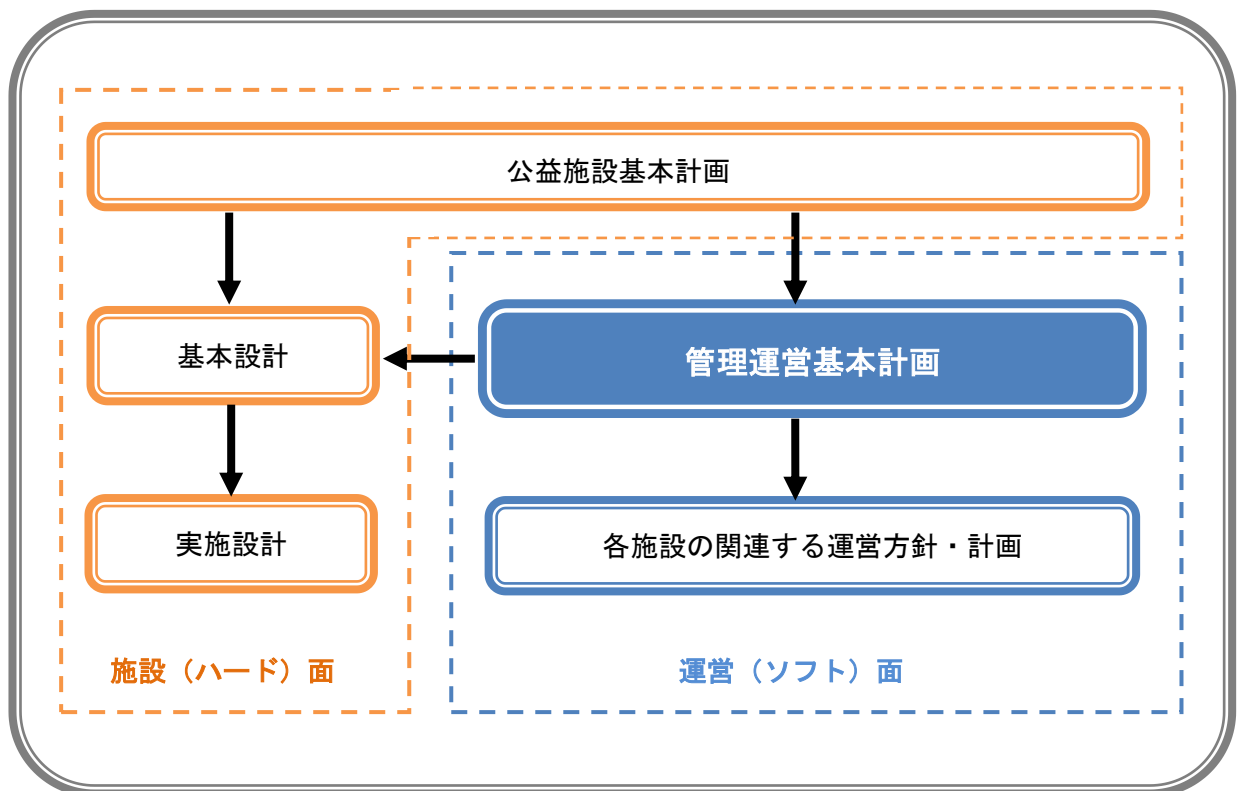
大和駅東側第4地区公益施設基本計画に定められているコンセプトを踏まえ、複合施設としてのメリットを最大限に発揮する管理運営を実現するため、その基本理念及び事業、組織、施設管理の方針などをまとめます。

大和駅東側第4地区公益施設建設の基本コンセプト
未来につなげる、大和の文化創造拠点 ～文化芸術の振興を中心に～

—4つのキーワード— 「創造」・「交流」・「感動」・「発信」

1 計画の位置づけ

この計画は、公益施設の管理運営（ソフト）面の基本的な指針について定めるプランで、その内容は、施設のハード面の基本設計にも反映されます。



2 計画の構成（案）

①計画策定の基本条件

：計画策定の目的、計画策定における視点、計画の位置づけの整理

②施設運営の基本理念と方針

：公益施設運営における全体の基本理念・4つのキーワードに関わる運営方針

③事業方針

：施設全体及び各施設の事業の基本的な方針

④組織運営方針

：複合する組織の構成、組織体制等の基本方針

⑤施設管理方針

：利用規則、開館時間・休館日・使用料又は利用料金の基本方針

⑥収支方針

：施設運営に係る収支の考え方の整理と運営主体の収支改善のための指針

⑦広報宣伝方針

：施設イメージの確立に向けた広報宣伝の基本方針

⑧開館準備業務と作業スケジュール

：管理運営に関わる開館までの準備と作業スケジュール

3 計画策定のための検討体制

①庁内検討会議

〔役割〕 計画の主要な部分を検討し、原案を作成する。

〔委員〕 関係課の課長（11課）

②庁内検討ワーキンググループ

〔役割〕 計画の原案作成のための調査・検討等を行い、庁内検討会議を補佐する。

〔メンバー〕 関係課からの担当者（各課1～2名を予定）

検討すべきテーマごとにワーキンググループを設置。

【現在、設置済みのワーキンググループ】

文化3施設ワーキンググループ、子育て支援施設ワーキンググループ

4 策定スケジュール

- ・H23. 11～H24. 3月 庁内検討会議の開催
- ・H23. 12～H24. 3月 庁内検討ワーキンググループの開催
- ・H24. 4月 庁議・教育委員会定例会
- ・H24. 5月 議会への説明、附属機関からの意見聴取
- ・H24. 6月 パブリックコメント
- ・H24. 8月 計画策定